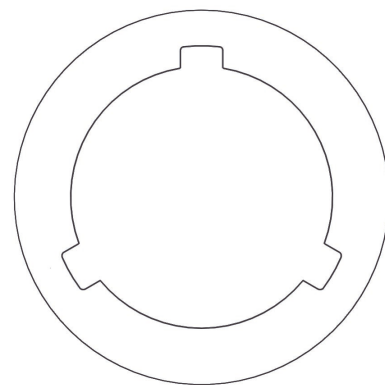




カムログインプラントシステム
カムログアバットメント ロケーター



目次

製品の説明	4
ロケーターシステムのコンポーネンツ	5
ロケーターインスツルメント	6
ロケーター用インスツルメント	6
手順	7
ロケーターアバットメントの装着	7
ロケーターアバットメントの締め付けトルク	7
インプラント間の角度測定	7
新たにロケーター固定式総義歯を作製する場合	8
印象採得	8
リテンションインサートの選択	8
作業模型の作製	9
ロケーターアナログを選択する	9
総義歯の作製	9
色分けされたリテンションインサートの装着	10
既存の総義歯をロケーター固定の総義歯に変更する	11
作業模型の作製	11
総義歯の変更	11
歯科医院で既存の総義歯をロケーター固定の総義歯に変更する	12
既存の総義歯のリテンションインサートの交換	13
ロケーター固定の総義歯の裏装	14

ロケーターシステム

製品の説明

ロケーターシステムは、上顎と下顎の粘膜およびインプラント支持のオーバーデンチャーに使用します。このシステムは、インプラント軸の傾斜が1本あたり20°以内（インプラントどうしの傾斜角度が40°以内）のケースに使用できます。ロケーターシステムは患者がデンチャーを着脱する際に適正な位置にガイドするようデザインされています。ロケーターアバットメント側のアンダーカットとリテンションインサートの嵌合デザインにより二重の維持（デュアルリテンション）が得られます。

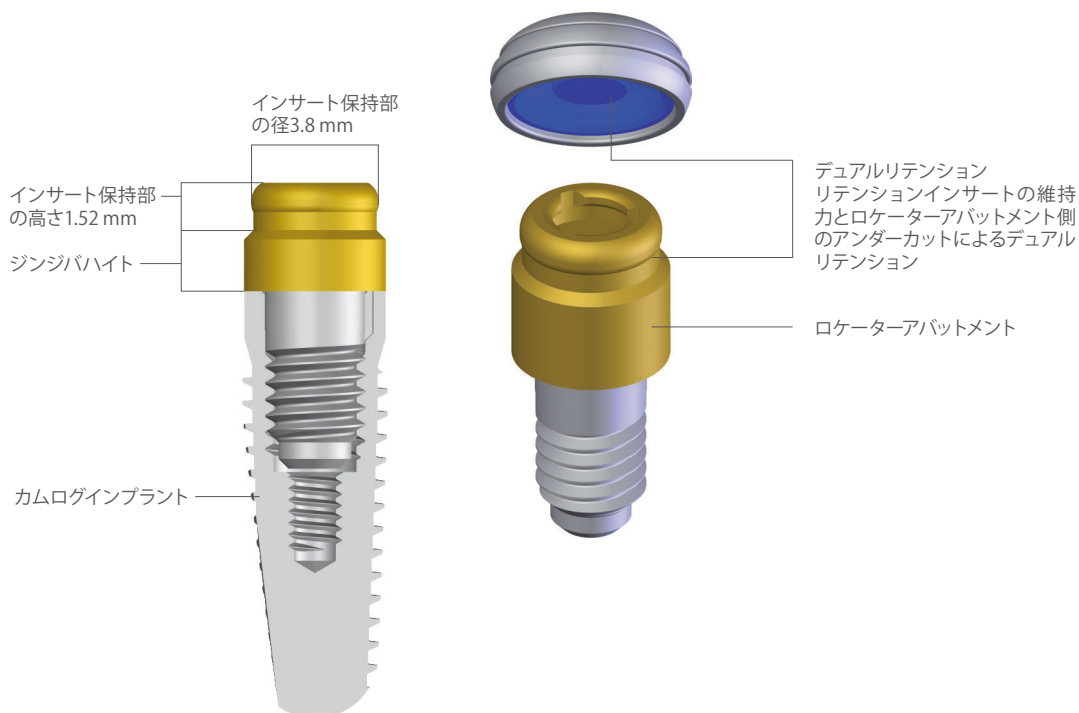
ロケーターシステムには、維持力の異なる様々なリテンションインサートがあります。ロケーターアバットメントは、直径が3.3、3.8、4.3、5.0 mmの4種類、歯肉貫通部の高さは1.0、2.0、3.0、4.0、5.0 mmの5種類がラインアップされています。（直径3.3 mmには高さ5.0 mmはありません。）

ロケーターシステムはインプラント支持の総義歯にも適用可能です。

- ・ロケーターシステムを用いた新しい総義歯の作製
- ・既存の総義歯をロケーター固定義歯に変更

注意

ロケーターアバットメントのうち直径3.3 mmは、上顎及び臼歯部に使用しないこと。



ロケータシステムのコンポーネンツ

商品コード		商品名	直径 Ø (mm)	GH(mm)
J2253.3310		カムログアバットメント ロケータ	3.3	1.0
J2253.3320				2.0
J2253.3330				3.0
J2253.3340				4.0
J2253.3810		カムログアバットメント ロケータ	3.8	1.0
J2253.3820				2.0
J2253.3830				3.0
J2253.3840				4.0
J2253.3850				5.0
J2253.4310		カムログアバットメント ロケータ	4.3	1.0
J2253.4320				2.0
J2253.4330				3.0
J2253.4340				4.0
J2253.4350				5.0
J2253.5010		カムログアバットメント ロケータ	5.0	1.0
J2253.5020				2.0
J2253.5030				3.0
J2253.5040				4.0
J2253.5050				5.0
J2253.0200		ロケータ印象キャップ (4 入)	3.3/3.8/4.3/5.0	
J2253.0340		ロケータアナログ (4 入)	3.3/3.8/4.3	
J2253.0350		ロケータアナログ (4 入)	5.0	
J2253.0102		リテンションインサートセット 0°-10° (2 セット入) 内容物 (各 1 個) ロケータ プロセッシングハウジング (ロケータ プロセッシングインサート装着済) ロケータ ブロックアウトスペーサー ロケータ リテンションインサート クリア ロケータ リテンションインサート ピンク ロケータ リテンションインサート ブルー	3.3/3.8/4.3/5.0	
J2253.0112		リテンションインサートセット 10°-20° (2 セット入) 内容物 (各 1 個) ロケータ プロセッシングハウジング (ロケータ プロセッシングインサート装着済) ロケータ ブロックアウトスペーサー ロケータ リテンションインサート グリーン ロケータ リテンションインサート オレンジ ロケータ リテンションインサート レッド	3.8/4.3/5.0	
J2253.0401		ロケータブロックアウトスペーサー (20 入)	3.3/3.8/4.3/5.0	
J2253.0402		ロケータプロセッシングインサート (4 入)	3.3/3.8/4.3/5.0	
J2253.1005		ロケータリテンションインサート 0°-10° クリア (ストロング)(4 入)	3.3/3.8/4.3/5.0	
J2253.1003		ロケータリテンションインサート 0°-10° ピンク (ミディアム)(4 入)	3.3/3.8/4.3/5.0	
J2253.1002		ロケータリテンションインサート 0°-10° ブルー (ライト)(4 入)	3.3/3.8/4.3/5.0	
J2253.2004		ロケータリテンションインサート 10°-20° グリーン (ストロング)(4 入)	3.8/4.3/5.0	
J2253.2003		ロケータリテンションインサート 10°-20° オレンジ (ミディアム)(4 入)	3.8/4.3/5.0	
J2253.2002		ロケータリテンションインサート 10°-20° レッド (ライト)(4 入)	3.8/4.3/5.0	
J2253.2000		ロケータリテンションインサート 10°-20° グレー (ゼロ)(4 入)	3.8/4.3/5.0	

ロケーターシステム

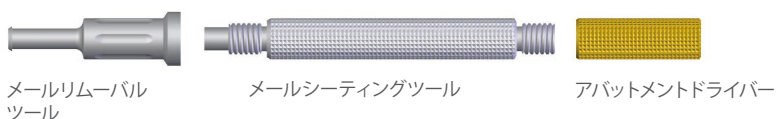
ロケーターインスツルメント

商品コード		商品名
J2253.0004		ロケーターパラレルポスト (4 入)
J2253.0003		ロケーターアングル測定ガイド
J2253.0001		ロケーター用ドライバー
J2253.0002		ロケーター用インスツルメント

ロケーター用インスツルメント

ロケーター用インスツルメントは 3 つの部分で構成されています。プロセッシングインサートやリテンションインサートを取り外すには、メーリングリムールツール部を反時計方向に 3 回程度回して緩め、先端をハウジング内のリテンション部に差し込みます。インサートにエッジが噛みこみますのでそのまま取り外します。ハウジングからインサートを外した後、リムールツール部を時計方向に回しますとインスツルメントの先端からインサートが外れます。

ロケーター製造者: Zest Anchors, Inc.



プロセッシングインサート ブラックやリテンションインサートをプロセッシングハウジングに取り付けるには、ロケーターインスツルメントのメーリングシーティングツール部を使います。リムールツール部を外しメーリングシーティングツールの先でリテンションインサートをプロセッシングハウジングの奥まで押し込みます。アバットメントドライバーはロケーターアバットメントをインプラントへ装着する際に使用します。

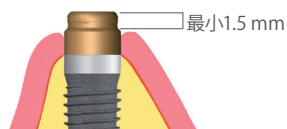
手順

ロケータアバットメントの装着

適切なカムログアバットメント ロケータを選択するには、インプラントの径と歯肉の厚さを知る必要があります。歯肉の厚さによって必要なアバットメントのジンジバハイトの高さが決まります。アバットメント最上部が歯肉から 1.5 mm 以上出るように適切なジンジバハイトのロケータアバットメントを選択します。

重要な注意

アバットメント最上部は歯肉縁上 1.5 mm 以上の位置であること。



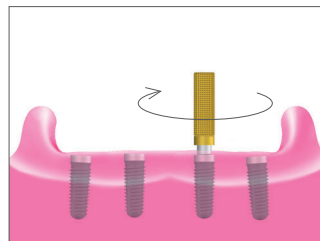
ジンジバフォーマーを外し、カムログインプラントの内部を洗浄します。インプラントとアバットメントの接合部が骨や軟組織で被覆されないようアバットメントをインプラントに正しく装着します。

ロケータアバットメントをカムログインプラントに装着するには、ロケータ用インスツルメントのアバットメントドライバー部もしくはロケータ用ドライバーが使用できます。ロケータ用ドライバーはトルクレンチが使用でき、アバットメントを規定のトルクで装着できます。

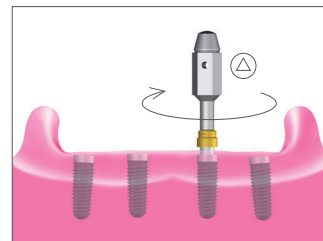
ロケータアバットメントの締め付けトルク

Implant Ø 3.3 mm	20 Ncm
Ø 3.8/4.3/5.0 mm	30 Ncm

注：装着約5分後に、ロケータアバットメントを同じトルクで増し締めしてください。



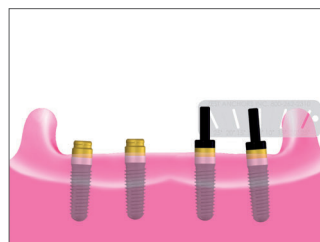
ロケータインスツルメントの
アバットメントドライバー部



ロケータ用ドライバー

インプラント間の角度測定

インプラント間の角度を測定するには、固定したアバットメントに平行ポストを装着します。カチッという感触が得られれば正しく装着されています。アングル測定ガイドを用いて、インプラント-アバットメント相互間の角度を測定します。



ロケータ アングル測定ガイド



ロケータ 平行ポスト

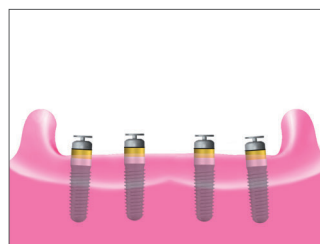
ロケーターシステム

新たにロケーター固定式総義歯を作製する場合

印象採得

カムログインプラントに装着したロケーターアバットメント上にロケーター印象キャップを用いて印象を採得します。

印象キャップを各ロケーターアバットメントに装着します。印象キャップが正しく装着されていることを確認します。シリコンやポリエーテルなどの適切な印象材を用いて、口腔内の印象を採得します。印象材が硬化し、トレーを外すと、印象材の中にロケーター印象キャップが取り込まれます。



ロケーター印象キャップ

リテンションインサートの選択

各リテンションインサートの維持力の値を考慮して適切なインサートを選択します。

リテンションインサートセット (0°~10°)	
内容物 (各1個)	
ロケーター プロセッシングハウジング (ロケーター プロセッシングインサート装着済)	
ロケーター ブロックアウトスペーサー	
ロケーター リテンションインサート クリア	
ロケーター リテンションインサート ピンク	
ロケーター リテンションインサート ブルー	

インプラントの傾斜角 0°~10° の場合のリテンションインサート	
カラー: クリア 保持力: ストロング	
カラー: ピンク 保持力: ミディアム	
カラー: ブルー 保持力: ライト	

リテンションインサートセット (10°~20°)	
内容物 (各1個)	
ロケーター プロセッシングハウジング (ロケーター プロセッシングインサート装着済)	
ロケーター ブロックアウトスペーサー	
ロケーター リテンションインサート グリーン	
ロケーター リテンションインサート オレンジ	
ロケーター リテンションインサート レッド	

インプラントの傾斜角 10°~20° の場合のリテンションインサート	
カラー: グリーン 保持力: ストロング	
カラー: オレンジ 保持力: ミディアム	
カラー: レッド 保持力: ライト	

リテンションインサートの装着は、歯科技工所又は歯科医院にて指定の方法で行います。

作業模型の作製

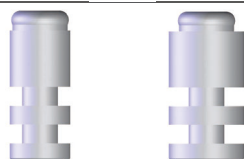
印象を採得したのち、ロケーターアナログを用いて作業模型を作製します。サイズが2種類ありますので使用するロケーターアバットメントの径に対応するアナログを選択します。

注意

採得した印象上では口腔内で実際に使用したロケーターアバットメントの直径が分かりませんので、ロケーターアナログの選択に当たっては、技工サイドにアバットメントの直径を連絡する必要があります。

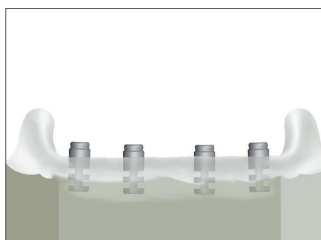
ロケーターアナログを選択する

ロケーター印象キャップ



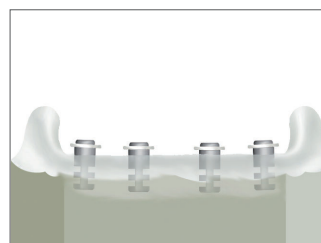
ロケーターアナログ	J2253.0340	J2253.0350
対応するロケーターアバットメント	Ø 3.3/3.8/4.3 mm Ø 5.0 mm	

インプラントの径に合わせたロケーターアナログを、印象に取り込まれた印象キャップに装着します。アナログが確実に装着されていることを確認します。適切な模型用材料で作業模型を作製します。



総義歯の作製

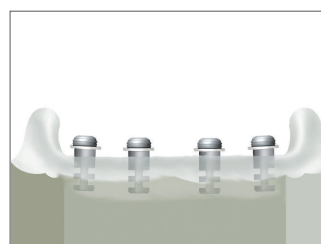
作業模型の作製が終わると、リテンションインサートセットに入っているブロックアウトスペーサー（ホワイト）をロケーターアナログのインサート保持部に取り付け、レジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにします。



ブロックアウトスペーサー（ホワイト）

プロセッシングインサート（ブラック）が組込まれたプロセッシングハウジングを、ブロックアウトスペーサーを取り付けたアナログに確実に装着します。

プロセッシングハウジングにはあらかじめプロセッシングインサート（ブラック）が装着されており、義歯床に取り込む際に適度な維持力で作業が行えます。



プロセッシングインサート（ブラック）が組込まれたプロセッシングハウジング

警告

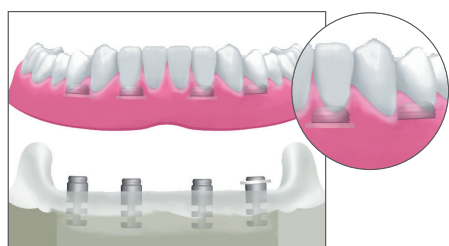
ブロックアウトスペーサーを使用してもプロセッシングハウジングと歯肉の間にアンダーカットがある場合はレジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにブロックアウトしてください！

通法に従って総義歯を作製します。

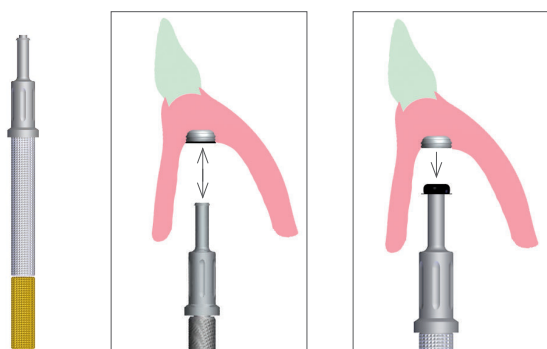
ロケーターシステム

色分けされたリテンションインサートの装着

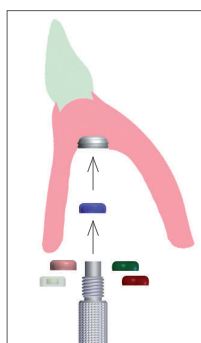
総義歯の作製が終わったら、プロセッシングハウジングからブロックアウトスペーサー（ホワイト）とプロセッシングインサート（ブラック）を外します。



ロケーターインスツルメントを用いてプロセッシングハウジングからプロセッシングインサート（ブラック）を取り外します。メーリングツール部を反時計方向に3回ほど回して緩めます。メーリングツール部をプロセッシングインサート（ブラック）に押し込み、プロセッシングインサート（ブラック）を外します。



ロケーターインスツルメントのメーリングツール部を用いて、リテンションインサートを空のプロセッシングハウジングの中へ装着します。メーリングツール部を外し、メーリングツール部を用いてリテンションインサートをプロセッシングハウジングに押し込みます。



注意

リテンションインサートとロケーターインスツルメントのシーティングツール部にはフリクションがありませんので保持できません。そのため、シーティングツール部を垂直に保持し、選択したリテンションインサートを乗せ義歯の粘膜面側からリテンションインサートを押し込んでください。

既存の総義歯をロケータ固定の総義歯に変更する

ロケータシステムのコンポーネントを既存の総義歯に組み込むこともできます。ロケータアバットメントをカムログインプラントに挿入し（7ページ参照）、ロケータ印象キャップをアバットメントに装着します。印象キャップが正しく装着されていることを確認します。



印象キャップの位置に相当する既存義歯床内面を削合します。

重要な注意

口腔内で適合をチェックするとき、ロケータアバットメント上の印象キャップが義歯に接触しないようにしてください。

この場合の印象採得は義歯の裏装と全く同様で、スペース形成した義歯を直接印象キャップの上に置いて採得します。印象キャップが印象に適切に取り込まれるようにポリエーテルやシリコンなどの印象材を使用することをお勧めします。

オプション: 義歯床が薄く当たりが出る場合、プロセッシングハウジングで印象を採得することもできます。この場合印象取り込み時の保持力が低下することを考慮する必要があります。

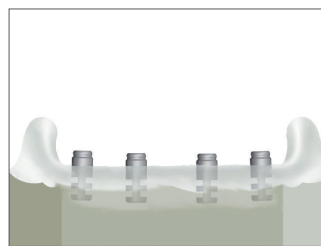
作業模型の作製

インプラントの径に合った適切なロケータアナログを印象内の印象キャップに装着します。アナログが確実に装着されていることを確認ください。

注意

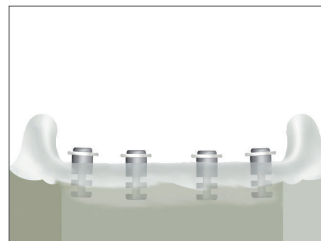
採得した印象上では口腔内で実際に使用したロケータアバットメントの直径が分かりませんので、ロケータアナログの選択に当たっては、技工サイドにアバットメントの直径を連絡する必要があります。

適切な模型材で作業模型を作製します。



総義歯の変更

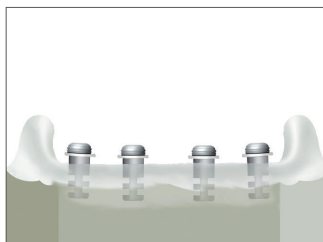
作業模型の作製が終わると、ブロックアウトスペーサー（ホワイト）をロケータアナログのインサート保持部に取り付け、レジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにします。



ブロックアウトスペーサー（ホワイト）

プロセッシングインサート（ブラック）が組込まれたプロセッシングハウジングを、ブロックアウトスペーサーを取り付けたアナログに確実に装着します。

ロケーターシステム



プロセッシングインサート（ブラック）が組込まれたプロセッシングハウジング

プロセッシングハウジングにはあらかじめプロセッシングインサート（ブラック）が装着されており、義歯床に取り込む際に適度な維持力で作業が行えます。

警告

ブロックアウトスペーサーを使用してもプロセッシングハウジングと歯肉の間にアンダーカットがある場合はレジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにブロックアウトしてください！

プロセッシングハウジングを既存の総義歯に重合させ、必要な場合は義歯の裏装も行います。

義歯をトリミングし、研磨を行った後、プロセッシングインサート（ブラック）を取り外し、10 ページの「色分けされたリテンションインサートの装着」の説明に従って適切なリテンションインサートと交換します。

完成した義歯を口腔内に装着し、咬み合わせをチェックします。

歯科医院で既存の総義歯をロケーター固定の総義歯に変更する

ロケーターシステムのコンポーネントを歯科医院で既存の総義歯に組み込むこともできます。ロケーターアバットメントをカムログインプラントに装着し（7 ページ参照）、ブロックアウトスペーサー（ホワイト）をロケーターアバットメントのインサート保持部にかぶせ、レジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにします。

警告

ブロックアウトスペーサーを使用してもプロセッシングハウジングと歯肉の間にアンダーカットがある場合はレジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにブロックアウトしてください！

危険！

口腔内で使用する全ての製品に関して、患者が誤って吸引したり嚥下したりすることのないよう注意してください。

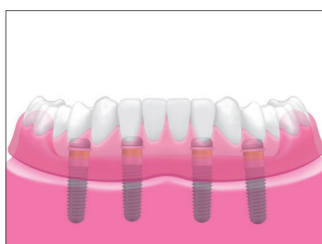
プロセッシングインサート（ブラック）が組込まれたプロセッシングハウジングを、ブロックアウトスペーサーを取り付けたロケーターアバットメントに確実に装着します。



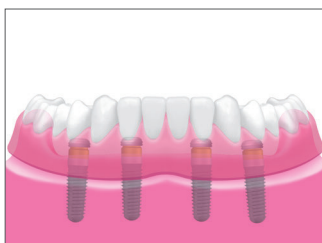
プロセッシングハウジングにはあらかじめプロセッシングインサート（ブラック）が装着されており、義歯に弾性が付与されます。

既存の総義歯のプロセッシングハウジングを取り込む部分を慎重に削合し、穴をあけます。試適の際に義歯がハウジングに接触しないようにしてください。接触すると、口腔内の義歯の正確な位置決めに影響を及ぼす可能性があります。余剰のレジンはこの穴を通して咬合面側に抜けます。

メーカーの指示に従って、プロセッシングハウジングを適切な即時重合レジンで重合させます。この際プロセッシングハウジングにもレジンを塗布して湿潤させることをお勧めします。そののち義歯を口腔内に装着し、適合をチェックしてから、咬合面側の穴からレジンを充填します。レジンが硬化したら、義歯を取り出し、余分なレジンを除去し研磨します。

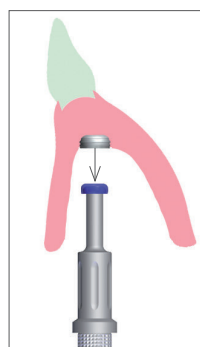


プロセッシングインサート（ブラック）を取り外し、10 ページの「色分けされたリテンションインサートの装着」の説明に従って適切なリテンションインサートと交換します。完成した義歯を再度口腔内に装着し、咬合をチェックします。

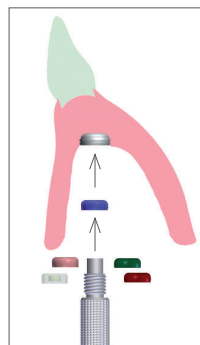


既存の総義歯のリテンションインサートの交換

必要な場合は、ロケーターインストルメントを用いてリテンションインサートを交換します。メールリムーバルツール部を反時計方向に3回ほど回して緩めます。メールリムーバルツール部をプロセッシングインサート（ブラック）に押し込み、プロセッシングインサート（ブラック）を外します。



ロケーターインストルメントのメールシーティングツール部を用いて、リテンションインサートを空のプロセッシングハウジングの中へ装着します。（メールリムーバルツール部を外し、メールシーティングツール部を用いてリテンションインサートをプロセッシングハウジングに押し込みます。）



注意

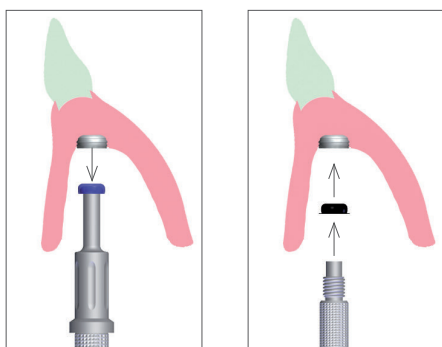
リテンションインサートとロケーターインストルメントのシーティングツール部にはフリクションがありませんので保持できません。そのため、シーティングツール部を垂直に保持し、選択したリテンションインサートを乗せ義歯の粘膜面側からリテンションインサートを押し込んでください。

10 ページの「色分けされたリテンションインサートの装着」を参照してください。

ロケーターシステム

ロケーター固定の総義歯の裏装

ロケーターインスツルメントを用いて義歯に組み込まれたプロセッシングハウジングからリテンションインサートを取り外し、プロセッシングインサート（ブラック）と交換します。13 ページの「既存の総義歯のリテンションインサートの交換」を参照してください。



プロセッシングインサートは、裏装のための印象採得時に義歯をロケーターアバットメントに維持、固定します。

通法通り義歯で印象を採得します。義歯を正しく装着してください。印象材がプロセッシングインサートに入り込まないようにしてください。印象が適切に採得できたら、義歯内のプロセッシングハウジングの中にプロセッシングインサート（ブラック）が残ります。裏装のための印象を技工所に渡します。

注意

作業模型を作製するためのロケーターアナログの選択に当たっては、技工サイドにアバットメントの直径を連絡する必要があります。

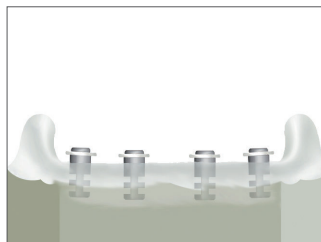
技工所では作業模型作製のために、対応するロケーターアナログをプロセッシングインサート（ブラック）に挿入します（9 ページの「作業模型の作製」を参照）。

作業模型を作製し、裏装印象を通法通り模型に固定します。

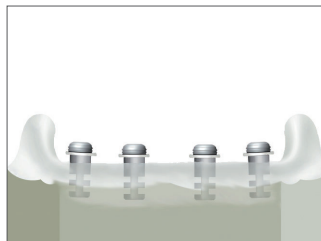
注意

義歯内の既存のプロセッシングハウジングをこの際に交換しておくことをお勧めします。

作業模型から印象を外したのち、プロセッシングハウジングを義歯から取り外します。レジンがプロセッシングハウジングの中に入り込むのを防ぐため作業模型上のロケーターアナログにブロックアウトスペーサー（ホワイト）を装着します。



プロセッシングインサート（ブラック）が組み込まれたプロセッシングハウジングを、ブロックアウトスペーサーを取り付けたアナログに確実に装着します。プロセッシングハウジングにはあらかじめプロセッシングインサート（ブラック）が装着されており、義歯床に取り込む際に適度な維持力で作業が行えます。



プロセッシングインサート（ブラック）が組み込まれたプロセッシングハウジング

注意

ブロックアウトスペーサーを使用してもプロセッシングハウジングと歯肉の間にアンダーカットがある場合はレジンがプロセッシングハウジングの中に入り込まないようにブロックアウトしてください！

裏装のために義歯の粘膜面を削合し、プロセッシングハウジング部分を削ります。印象と作業模型を合わせる際に、プロセッシングハウジングが義歯に接触しないようにしてください。義歯を従来の方で裏装します。

義歯をトリミングし、研磨したら、プロセッシングインサート（ブラック）を取り外し、10 ページの「色分けされたリテンションインサートの装着」の説明に従って適切なリテンションインサートと交換します。完成した義歯を挿入し、咬合をチェックします。

カムログインプラント K-シリーズ	医療機器承認番号	【高度】	22200BZX00868000
カムログスクレーインプラント	医療機器承認番号	【高度】	22800BZX00286000
カムログインプラントプログレッシブライン	医療機器承認番号	【高度】	30100BZX00215000
カムログアパットメント ロケータ	医療機器承認番号	【高度】	22700BZX00379000
ロケータ印象キャップ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000117
ロケータアナログ	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000095
ロケータ補綴用器具	医療機器届出番号	【一般】	27B1X00027000116

製造販売業者 株式会社アルタデント

本社 〒530-0012 大阪市北区芝田2-8-31 第三東洋ビル2F TEL(06)6377-2221 FAX(06)6377-2223
東京支社 〒106-0047 東京都港区南麻布2-14-19 オキノビル3F TEL(03)5420-2290 FAX(03)5420-4790

製造業者 Altatec GmbH Maybachstr 5, 71229 Wimsheim, Germany

IN. 0002. 202106. 02

camlog
ALTA DENT アルタデント
株式会社
www.alta-dent.com